

TOPコレクション

TOP Collection:
A Genealogy of
“Peep Media”
and the Gaze

何が 見える



開館時間 10:00-18:00(木・金曜日は20:00まで)
ただし、7/20(木)-8/31(木)の木・金は21:00まで開館。*入館は閉館の30分前まで
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合開館し、翌平日休館)
観覧料 一般700円/学生560円/中高生・65歳以上350円
小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名まで)は無料。
*第3水曜日および9月18日(月・祝)敬老の日は65歳以上無料

本展はオンラインによる日時指定予約を推奨いたします。
事業は諸般の事情により変更することがございます。最新情報は当館ホームページでご確認ください。

主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館



覗き見る「まなざし」の系譜

2023年7月19日(水) → 10月15日(日)
東京都写真美術館 3階展示室
恵比寿ガーデンプレイス内

TOP MUSEUM

TOPコレクション 何が見える？

TOP Collection: A Genealogy of "Peep Media" and the Gaze

「覗き見る」まなざしの系譜

[出品作品・作家]

1 覗き見る愉しみ

カメラ・オブスクラ、眼鏡絵、覗き眼鏡、ピープショー、のぞきからくり

2 観察する眼

ウィリアム・ベンジャミン・カーペンター、ロール・アルバン＝ギョー、エドワード・マイブリッジ、エティエンヌ＝ジュール・マレー、ハロルド・ユージン・エジャートン

3 立体視と没入

ステレオスコープ(ビューワー)、ステレオカード

4 動き出すイメージ

ゾートロープ、ブラクシノスコープ、フェナキスティスコープ、キノーラ、キネトスコープ(フィルム制作:石川亮)

5 「覗き見る」まなざしの先に

奈良原一高、オノデラユキ、出光真子、伊藤隆介



- 1 作家不詳《光学箱》19世紀頃
- 2 エドワード・マイブリッジ《馬と人間》1878-79年 鶏卵紙
- 3 ネグレッティ&ザンブラ《クリスタル・パレス(ステレオビューワー付)》1854年頃
- 4 作家不詳《ステレオビューワーを覗く子ども》19世紀頃
- 5 《ブラクシノスコープ》19世紀頃
- 6 オノデラユキ(No.1)《Camera》より1997年 ゼラチン・シルバー・プリント
- 7 伊藤隆介《オデッサの階段》2005年 シングルチャンネル・ビデオ・インストール(第4回恵比寿映像祭での展示)

本展では、東京都写真美術館の写真史・映像史に関するコレクションの中から、「覗き見る」ことを可能にした装置と、それによって生み出されたイメージ、そして「覗き見る」ことからイマジネーションを広げた作家たちの多様な表現をご紹介します。

写真や映像を撮影するカメラは、まさに覗き見る装置とも言えます。カメラの原型となったカメラ・オブスクラは、その機構を流用することで、覗き眼鏡などの視覚装置としても楽しまれていました。覗き見る装置のヴァリエーションとしては、顕微鏡や望遠鏡などの科学的な装置や、ステレオスコープのような立体視のための装置、動く絵を生み出す装置などがあります。

さらに、カメラによって写し出されたイメージを定着させる写真術の普及により、覗き見ることで得られたイメージが世界中に届けられ、多くの人々の間で共有されることとなりました。写真をステレオカードに用いる

ことで没入感は飛躍的に高まり、連続写真は映画の誕生へと寄与します。現代においては、液晶モニターやディスプレイを見ながら撮影する場合も多く、もはやカメラは覗き見る装置とは言えないかもしれません。しかしながらむしろ、一人一台カメラ付きのスマートフォンを持ち、日々カメラを互いに向け合う今こそ、「覗き見る」まなざしは意識せずとも、私たちの日常生活の一部となっているといえるでしょう。

私たちを魅了してやまない「覗き見る」行為と、それによって生まれるまなざし。「覗き見る」まなざしの系譜を、写真美術館のコレクションから探求します。

表面図版 中央 ネグレッティ&ザンブラ《クリスタル・パレス》1854年頃 ダゲレオタイプ
右上 エドワード・マイブリッジ《馬と人間》1878-79年 鶏卵紙(部分)
右下 作家不詳《カメラ・オブスクラ》19世紀頃
左下 作家不詳《ステレオビューワーを覗く子ども》19世紀頃(部分)

会期中、以下のイベントを予定しています。詳細は決定次第、ホームページで公開します。

- 展覧会担当学芸員によるギャラリートーク
- 手話通訳付きギャラリートーク
- 出品作家によるアーティストトーク

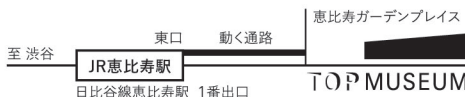
9月9日④ 講師:石川亮(出品作家)、南俊輔(映像作家)
10月15日④ 講師:伊藤隆介(出品作家)

- 「覗き見る」メディアとイメージをめぐるレクチャー
9月24日④ 講師:草原真知子(本展協力者)、細馬宏通(早稲田大学教授)
- 映画のはじまり体験ワークショップ
8月19日④ 講師:郷田真理子(フィルム技術者)
- TOPボランティアによる手作りアニメーションワークショップ
7月29日④、30日④

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 Tel: 03-3280-0099 www.topmuseum.jp



JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。当館には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。